



教職員の研修について

昨年度の学校評価の「教職員の研修」に関して「評価しにくい、分からない」というご意見が多数ありました。そこで、今回は、教職員がどのような研修をしているのかということをお伝えいたします。

私たち教職員は、「絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」ということが、法律で明記されています。「初任者研修」という言葉をご存じの方もいらっしゃると思いますが、これは法律によって定められた研修（法定研修）です。その他にも、「中堅教諭等資質向上研修」も法定研修として位置付けられています。法定研修以外にも、教科等の指導や生徒指導に関する研修や民間企業への長期派遣の研修もあります。校長も管理職研修があります。これらのことは専門的なことなので、保護者の皆様にはお伝えしにくいところがありますが、個々の教職員が、自分の職歴や校務に応じて研修を行っているということをご理解ください。

一方、校内での研修にも取り組んでいます。一昨年度までは食育を、昨年度までは、特別活動の研究を実践しました。久枝小学校、鴨川中学校との小中学校の連携事業（久枝小・鴨川中）も継続しています。今年度は、生活科について研究をしています。

潮見小学校では「夢をもち 自他を大切にしながら学び合う子どもの育成」という教育目標のもと「かかわる つながる つくりだす 児童の育成」という研究主題を掲げてます。子どもたちには、ひとやものと関わりながら、考えをつなげたり、これまで学習したことと関連付けたりして、新たな見方や考え方をくりだしてほしいと思います。

7月16日（火）の2校時に2年1組において生活科の研究授業を行いました。「ときどきわくわくまちたんけん」という単元で、実際に町探検をしたときのことを資料にまとめて発表する学習を行いました。町探検



で見付けた「しおみのすてき」なところを、分かりやすく発表しようと頑張っていました。子どもたちは、花や生き物といった自然に目を向けたり、校区内の施設に関心をもったりしていることがよく分かりました。発表に対する感想や質問も、たくさん聞かれました。2学期にも町探検をしますので、今回の学習を生かしながら、2年生の思いをくみ取って、2年生なりにさらに潮見の町を深く見つめることができるように工夫をしていきたいと思ひます。

授業後の教職員内での協議では、今後の学習の進め方やICTの積極的活用など、前向きな意見が出されました。

夏季休業中においても、校内外で各領域に関する研修を行います。2学期以降も研究授業を行いますので、その授業の様子についてはお伝えいたします。

